

魅せられて パナマ運河 ～ 20世紀の大土木工事を絵葉書で見る～

安達 實¹・村田 晶²

¹正会員 金沢工業大学客員研究員（〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1）

E-mail: adachi.makoto@ruby.plala.or.jp

²正会員 金沢大学助教 理工研究域環境デザイン学系（〒920-1192 石川県金沢市角間町）

E-mail: murata@se.kanazawa-u.ac.jp

パナマ運河は中央アメリカのパナマ地峡を横断し、太平洋とカリブ海（大西洋）を結ぶ水路で、20世紀最大の土木事業と言われている。1914（大正3）年に開通して以来、はや1世紀が経ち、混雑緩和の部分拡張が本年共用されるようである。本研究は運河完成後に、日本とパナマで発行されたこの工事の絵葉書を紹介するもので、今後の海洋運河の研究に資せれば幸せである。

Key Words : パナマ運河、開門式、100年の歴史、コンクリートと鉄の構造物

1. パナマ運河の概要

パナマ運河は、図-1に示すようにパナマ地峡を横切る運河（水路）で、カリブ海側のコロンから太平洋側のパナマ湾岸のバルボアに至る、全長約82km、最小幅員90m、水深約14mで、6対の閘門を持ち、中央に人造湖であるガトン湖を擁する。運河敷設にあたり16世紀頃よりスペインが調査を始めたが、成果は実らなかった。その後、19世紀末にスエズ運河を完成させたレセップスが計画したが、断念し、その後アメリカが引き継ぎ、1904年着工、1914年に完成した。

パナマ運河の概要については、これまで各種の参考書、土木学会の報告書等で運河の概要については詳しく述べられているが、建設当時の写真が少ないことから、本稿では工事中の写真絵葉書を中心に説明する^{1)～10)}。

2. 日本製の絵葉書に見るパナマ運河

パナマ運河完成直後に発行されたもので、16枚セット、上田写真版会社による発刊である。絵葉書の内容については発表時に報告する。



図-1 パナマ運河の断面図と位置図
「日本大百科全書3」小学館、1985より抜粋

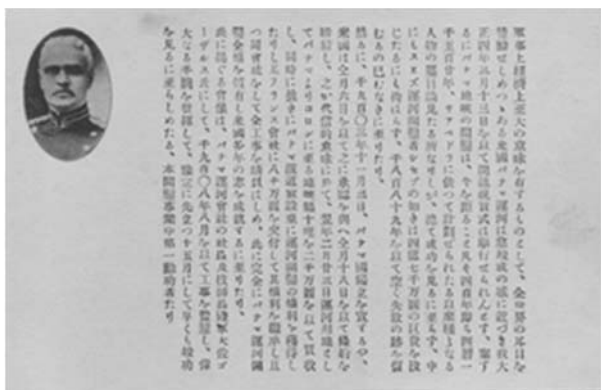


図-2 運河の概要とゴーサルスの勲功



図-5 ミラフローレ水門工事



図-3 クレブラ開削作業

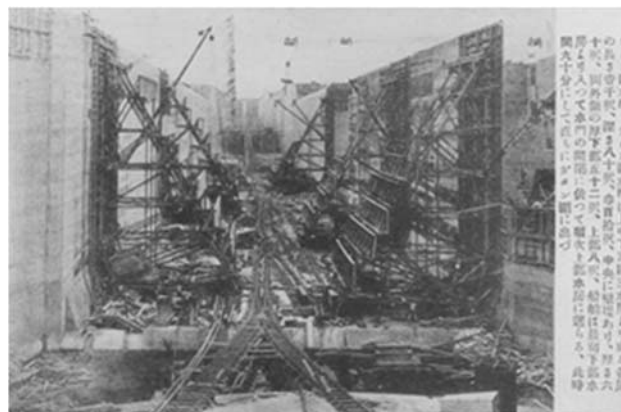


図-6 ガタン湖水門



図-4 ペトロミグューエル水門の中央



図-7 ガタン湖開削工事

3. 外国製の絵葉書に見るパナマ運河

パナマ運河完成後、おみやげ用に製作された色彩写真絵葉書である。25枚セットであり、パナマで発売されたものである。写真絵葉書の内容については発表時に報告する。

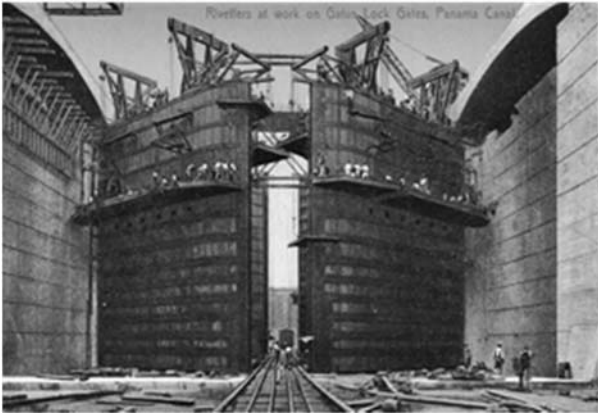


図-8 Riveters of Gatun Lock Gates

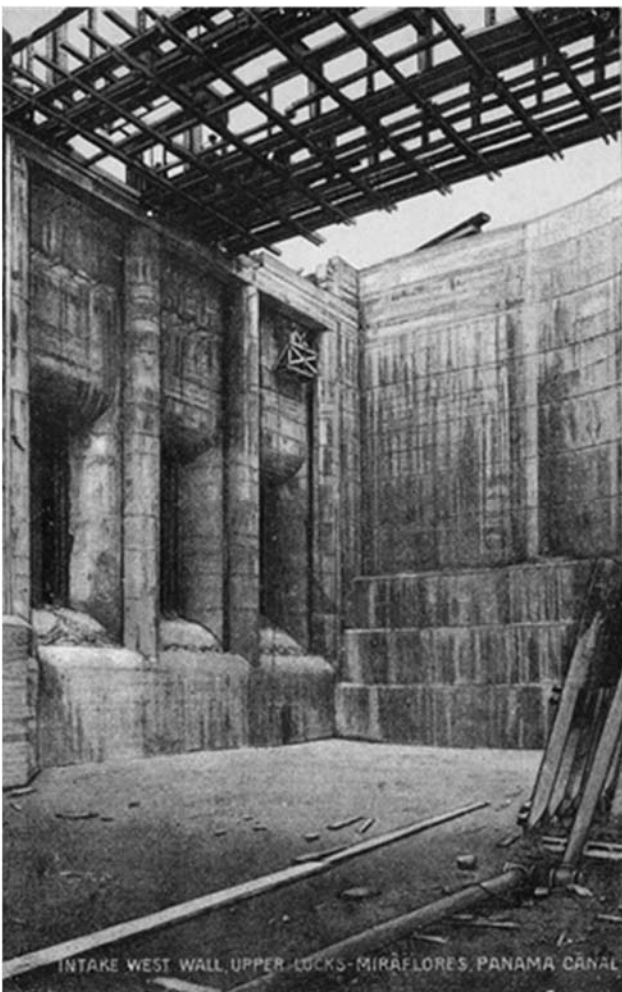


図-9 Miraflores Intake Wall

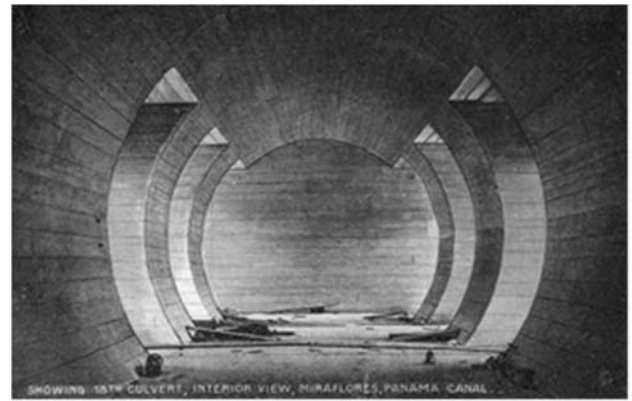


図-10 Miraflores Culvert, Interior View



図-11 Gatun Emergency Dam



図-12 View of Gatun Locks

4. おわりに

パナマ運河は1914年に完成開通した。建設の動機はどうであれ、世界の交通路を変え、世界中の人々に、経済的利益を与え、人々の交流に役立ち、文化の交流にも大きく貢献し、世界を大きく変えた大土木事業であった。本稿では、今年は混雑を極めるパナマ運河の一部拡張が今年完成する予定であることから、現在のパナマ運河の100年前の工事の状況を、開通時発行された絵葉書で紹介した。パナマ運河工事に携わったただ一人の日本人土木技師、青山士（あおやま あきら）が技術者として高く評価されていることは私達の誇りである。これからも世界を変える土木事業の思いを、新しい視点で見つめ、海洋運河の研究を進めたい。

絵葉書の収集に当たっては、東京の古書店をくまなく幾度も回ってくださったM氏に感謝します。

参考文献

- 1) 長野正孝ほか：パナマ運河の計画とその技術の変遷について，土木史研究，第12号，pp.81-96，1992.
- 2) 小林志郎ほか：パナマ運河返還と新運河建設構想の行方，土木学会誌第85巻12号，2000.
- 3) 小舟浩治：幻の第2パナマ運河，土木学会誌第81巻4号，1996.

- 4) 岡崎文吉：米国ノ三大事業ニ就テ（パナマ運河），土木学会誌第5巻6号，pp.1-27，1919.
- 5) 山口広次：パナマ運河，中央公論社，1980.
- 6) 国本伊代ほか：パナマを知る55章，明石書店，2004.
- 7) 長野正孝：運河物語，山海堂，p.75，1995.
- 8) D. マカルー著，鈴木主税訳：海と海をつなぐ道（上）（中）（下）パナマ運河建設史，フジ出版社，1986.
- 9) アンドレ・シーグフリード著，庄司浅水訳：スエズ運河とパナマ運河，あかね書房，1961.
- 10) F. Bishop：PANAMA Past and Present, Century Co, New York, 1920.

その他一般的な文献として，

- 小林志郎：パナマ運河拡張メガプロジェクト，文真堂，2007.
- 小林志郎：パナマ運河 百年の攻防と第二運河構想の検証，近代文芸社，2000.
- 矢沢潔：第2パナマ運河 巨大プロジェクト，講談社，pp.10~16，1985.
- などの資料を参考にした。

(2016. 4. 11 受付)